

山田京子の 議会報告



一般質問から

盲ろう者の訪問調査開始へ

市が初めて

みなさんは「盲ろう者」をご存知ですか?

盲ろう者とは、耳と目の両方に障がいのある方のことで、全国に2万2千人(※1)とされていますが、千葉県では1049人、千葉市には158人(※2)いると推計されています。

しかし、支援団体であるNPO法人千葉盲ろう者友の会に登録している人は県内でたったの26人。他の盲ろう者のみなさんがどこでどんな暮らしをしているのかわかりません。通訳・介助や同行支援などの公的サービスは受けているのか、社会参加はできているのか、これまでに市の把握は積極的ではありませんでした。

しかし、行政が対象者を把握しないことには、支援は始められません。一般市民や民間団体は個人情報を得ることができないからです。荒川区では、東京都盲ろう者支援センターと連携して、盲ろう者の訪問調査を始め、閉じこもりがちだった盲ろう者の社会参加につながると聞きました。

どんなに制度が整っても、当事者に情報が届かなければ絵に描いた餅です。盲ろう者との会話手段は、接近手話、触手話、ブリストア(点字タイプライター)、指文字、手書き文字(下写真)、音声、筆談、指文字、な



平成23年第4回定例会のあらまし

11月28日〜12月15日

補正予算(合計21億4600万円)の目玉は学校の耐震化。

千葉市の学校の耐震化率70%は政令市(86.4%)や県平均(71.6%)と比べても低く、国の第3次補正予算の活用で、ようやく完了が1年前倒し(H26年度)となる見通しです。

放射能関係では、市民の声に押される形で、12月からは給食1食分×1週間分の放射線量測定が行われるようになります。

市民ネットワークが要望していた、放射能対策室の設置と、市民測定室の設置については残念ながら前向きな答弁をもらえませんでした。今後も放射能対策には市民と共に注目していきます。

また、あんしんケアセンター(介護保険の相談窓口)が次年度から若葉区は2か所から4か所に増えることとなります。より身近な相談機関として充実してほしいものです。

多彩です。その人に合った手段と通訳者が確保されて初めて情報が届くのです。

今回の質問で、千葉市の盲ろう者(視覚と聴覚の障がい者手帳を持っている方)46人のうち、サービスを受けていない23人の訪問調査を始め、盲ろう者友の会と連携し支援を図るとの答弁を引き出すことができました。一人でも多くの盲ろう者の社会参加が実現し、生きる喜びを増やしていけるよう願っています。

※1:平成18年厚生労働省身体障害児・者実態調査

※2:平成22年12月全国盲ろう者協会調査からの推計

「いのちの教育」を全中学生に

千葉市では平成9年からふれあい体験学習、思春期教室という思春期保健対策事業を中学校で実施しています。

前者では乳幼児とのふれあい・生命の尊厳や性に関する教育、後者では親と子に対し思春期の心と体の発達の特徴や対応・知識の普及および相談を行うものです。

学習によって、子供たちは自分が頑張って生まれてきたことを知り、自分を大切にすることが芽生えたことが、アンケート調査で分かります。

市民ネットワークではこれらの教育をぜひ全生徒に受けさせたいと、以前から要望していました。今回の質問で実施校は増えていると分かりましたが、継続して実施されているわけではありません。せめて時間が短い思春期教室だけでも、すべての中学生が受講できるように求めました。



わかばおもしろツアー



お天気晴れ。千城台からおまごバスで出発だ。市民ネットワークの交通政策「バスでつなぐ人とまち」の観点からも、ぜひ利用したかった路線だ。

泉自然公園に着いてすぐ珍花「南蛮キセル」に皆大興奮!つり橋やカワセミが来る広い水辺、四季折々に訪ねたいと思う自然豊かな公園だ。美しい秋の1日を満喫し、Sさん曰く「こんな日に家に居るのもったいない。みんな来ればいいのに」全く同感。



皆さんそれぞれ予定があるでしょうが…市民ネットワークのイベントはお見逃しなきよう。(源町 伊藤悦子)

《わかばおもしろツアーとは…》2004年から、毎年、若葉区の素晴らしさを知るツアーを行っています。今回(11月12日)で9回目です。

津波被害者の話を聞く



宮城県南三陸町で津波の被害にあわれた農漁業・後藤一磨さんの講演会が9月29日に市民ネットワークわかば事務所で開催されました。印象深かったことは「避難した先で一晩大人は外で寒い中肌を寄せ合って過ごした。」「仮設住宅は地域ごとの入居ができず孤立化の問題がある。これから新しいコミュニティを作っていくかなくてはいけない。」「縄文時代の遺跡は津波の被害を受けていない。便利や利潤を欲していた私たちの心に問題があるのではないか。」でした。

非常事態では自分を守ることが第一ですが、一人では何もできず誰かの援助が必要です。

また、被災された人々は新しい地縁を一から創っていかなくてはなりません。そして、本当の豊かさや幸せとはなんなのか?を考えました。



最後に忘れられないのは「現場に来てほしい。」という言葉でした。被災地を実際に視て、心を通わせること。私たちにできる支援とは何かを考えさせられました。(松尾)

弁護士による法律相談

◎ 初回無料 ◎
電話で市民ネットワークちば事務所までご予約ください
☎043-201-2551
(平日:10時~17時)

★報告と御礼

96,408円を義援金に
市民ネットワークわかばで、2011年3月13日にバザーを行い、カンパと合わせて、中央共同募金会を通し震災義援金を送りました。ご協力ありがとうございました。

掲示板

2月18日(土)

千葉市文化センターセミナー室

●市民ネットワークちば総会

午後1時30分〜2時45分

●講演会

午後3時〜4時30分

飯館村酪農家

長谷川健一さんの話

3月1日〜4日

●空間放射線量測定

希望者募集中

3月21日(水) 午前10時〜12時

●小規模多機能住宅介護施設

『おもとの郷』(御成台)にて

見学会&おしゃべりサロン

申込み先:市民ネットワークわかば事務所



さようなら原発
1000万人アクション
署名活動2月末まで継続中